

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政策	01 自然・環境			戦略					
取組の 基本方針	01 人と自然の共生			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	野幌森林公園内基線道路一般車両通行者
手段（事務事業の内容、やり方）	野幌森林公園内基線道路の入り口等に看板を設置し、交通量について測定する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	一般車両の通行を抑制することにより自然環境の保全が図られる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2	交通量調査	回	1	1	1	1
成果指標 1	交通量（自動車）	台	56	46	46	39
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	23	20	30	22
正職員人件費 (B)		千円	1,963	1,165	1,530	1,155
総事業費 (A+B)		千円	1,986	1,185	1,560	1,177

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	交通量調査（年1回）	交通量調査経費 22千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展の開催と景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。</li> <li>・3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。</li> <li>・美原大橋のライトアップを行い、江別市の特色ある都市景観の創出を図る。（節電に伴い、24年度7月より休止）</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高める。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	企画展の開催日数	日	21	21	21	21
活動指標 2	美原大橋ライトアップ日数	日	0	0	0	0
成果指標 1	企画展参加者数	人	462	416	450	450
成果指標 2		件				
事業費 (A)		千円	141	647	1,161	162
正職員人件費 (B)		千円	4,712	3,494	6,121	770
総事業費 (A+B)		千円	4,853	4,141	7,282	932

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・まちづくり彩々展の開催	・まちづくり彩々展の開催経費 99千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：大麻地区住環境活性化事業

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいえつづくり				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	③ 高齢者等がいいきと活動しやすい居住環境の充実				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
大麻地区の住民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいに関する相談窓口の設置等により、住民の高齢化や家屋の老朽化等が進む大麻地区全体における高齢者の住み替えや空家の利活用による子育て世代の移住を進めるため、住環境の活性化に向けた取組を行う。</li> <li>・大麻地区の課題に取り組む市民組織である「江別市安心生活まちづくり推進事業運営協議会」の活動を支援する。</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
高齢者を含む多様な方々にとって住みやすい住環境の整備に向けた取組やまちづくり活動等を支援することで、住み替えや空家の利活用が促進される。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	大麻地区の人口	人	28,801	28,631	28,631	28,656
対象指標 2						
活動指標 1	まちづくり活動等の事業数	件	5	5	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	住まい相談件数	件	7	5	10	15
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,943	1,695	4,992	6,163
正職員人件費 (B)		千円	2,356	7,764	9,181	9,244
総事業費 (A+B)		千円	5,299	9,459	14,173	15,407

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みかえ支援相談窓口の運営</li> <li>・ニュースレター、HPによる情報発信</li> <li>・セミナー開催などのまちづくり活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員の報酬等 4,643千円</li> <li>・消耗品費等 252千円</li> <li>・ニュースレター発行・配布 511千円</li> <li>・電話代 42千円</li> <li>・車両、パソコン等管理運営経費 715千円</li> </ul> <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算1,608千円を繰越したため4,992千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度予算…6,600千円、28年度総事業費…15,781千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：生活バス路線運行補助事業

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
生活バス路線事業者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない市内完結バス路線を対象として、事業費の収支差に対する補助金を交付する。</p> <p>概要：上限1,000万円 要件：運行回数1日1回以上、輸送量5人以上150人以下、運行キロ程5km以上 ※予算が議決された場合、平成29年度分から上記のとおり実施するため、補助金交付要綱を改正予定。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活バス路線の運行が維持される。</li> <li>交通弱者の移動の利便性が確保される。</li> </ul>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	バス路線数（系統数）	系統	34	30	29	29
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	3,950	4,058	2,000	30,000
活動指標2	補助対象バス路線数	路線	3	3	2	3
成果指標1	バス路線の廃止数（系統数）	系統	0	4	1	0
成果指標2						
事業費（A）		千円	3,950	4,058	2,000	30,000
正職員人件費（B）		千円	2,356	1,553	2,295	2,311
総事業費（A+B）		千円	6,306	5,611	4,295	32,311

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金 30,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	廃止・減便が続く市内完結バス路線に対する運行費補助金の上限額を増額し、補助要件を緩和する。補助対象路線を拡大し、路線ごとの補助上限額を増額することにより、平成30年度のバス路線再編までの間、現状の運行路線・便数を維持することを旨とする。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
豊幌地区の住民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を予算の範囲内で補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
豊幌駅に管理人が配置されることにより、駅利用者の利便性、安全性が確保される。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	豊幌地区の人口	人	2,767	2,700	2,700	2,673
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2						
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	393	776	765	770
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>943</b>	<b>1,326</b>	<b>1,315</b>	<b>1,320</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金 550千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（住環境活性化・公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり				
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	② 交通ネットワークの充実				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度に設置した地域公共交通活性化協議会（市、公共交通事業者、公共交通利用者、学識経験者等で構成）において、市内のバス路線再編を目指して、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の策定に向けた協議を行う。</li> <li>上記協議会にて、公共交通空白地域における新たな交通手段の導入に向けた検討をするため、需要調査等を行う。</li> <li>市民に対して、バス路線マップの配布や市ホームページ・広報誌による情報発信を引き続き行うほか、上記協議会において、より効果的な公共交通の利用促進策等を検討する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
交通機能を維持・確保することに加え、情報提供の強化等を図ることにより、利用が促進される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標2						
活動指標1	利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標2						
成果指標1	バス輸送人員	千人	523	554	523	523
成果指標2						
事業費 (A)		千円	2,934	13,616	4,569	12,927
正職員人件費 (B)		千円	2,356	10,093	9,946	10,014
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>5,290</b>	<b>23,709</b>	<b>14,515</b>	<b>22,941</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通網形成計画・地域公共交通再編実施計画の策定に向けた調査分析</li> <li>地域公共交通活性化協議会の開催</li> <li>バス路線マップ作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定・調査委託料 12,125千円</li> <li>地域公共交通活性化協議会開催経費 618千円</li> <li>バス路線マップ作成 184千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり					
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり					
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助	

<b>事務事業の目的と成果</b>										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
市内大学（短期大学部含む）に所属する教員										
手段（事務事業の内容、やり方）										
市内大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の100%を1,000千円を上限に補助										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
教員が地域に目を向け、江別市の課題解決や地域活性化に資する研究を行うことで、地域の知的資源としての大学がまちづくりに活かされる。										

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内大学所属教員数（短大含む）	人	486	475	475	475
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,475	2,937	3,000	3,000
活動指標 2						
成果指標 1	補助事業本数	件	4	5	4	5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,485	2,954	3,039	3,039
正職員人件費 (B)		千円	3,927	3,106	3,060	3,081
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>6,412</b>	<b>6,060</b>	<b>6,099</b>	<b>6,120</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内大学の教員が行う江別の課題解決や地域活性化に資する調査研究事業に対し補助金を交付する。</li> <li>前年度の補助事業について、事業報告会を開催する。</li> </ul>	江別市大学連携調査研究事業補助金 3,000千円 大学連携事業報告会会場使用料 39千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	<b>改革方向性（成果）</b>	向上	維持	低下

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内大学に所属する学生（短期大学部含む）
手段（事務事業の内容、やり方）	市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の100%を100千円を上限に補助
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内大学に通う学生が江別市の一員としての意識を持ち、自主的な活動を通して地域とのつながりを深めることで、地域と大学の協働によるまちづくりが行われる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,711	10,305	10,305	9,991
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	211	291	300	300
活動指標 2						
成果指標 1	補助事業本数	件	5	6	4	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	241	291	325	300
正職員人件費 (B)		千円	5,890	3,106	3,060	3,081
総事業費 (A+B)		千円	6,131	3,397	3,385	3,381

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。	・大学連携学生地域活動支援事業補助金 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：大学版出前講座支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民・大学									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内4大学の教員が地域で行う出前講座の開催を支援するため、大学と地域、市民、企業等とのコーディネート、事業PRを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
大学の地域貢献として、知的資源が活用されることで、大学と自治会や企業等、地域との協働が推進される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	出前講座講師登録者数	人	22	64	64	61
対象指標2						
活動指標1	出前講座実施件数	件	0	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	出前講座参加者数	人	0	461	100	100
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	44	35
正職員人件費(B)		千円	1,963	3,106	3,060	3,081
総事業費(A+B)		千円	1,963	3,106	3,104	3,116

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・出前講座実施のための大学への依頼、日程調整、配付資料の印刷	講座配付資料印刷経費 35千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に所在する大学又は短大に在学している学生									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市、近隣自治体（芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）、市内4大学、市内関連団体で組織する『学生地域定着推進広域連携協議会』を中心に市内4大学の学生が参画自治体内でボランティアやインターンシップ等の地域活動プログラムに参加できるよう、マッチングを実施。江別市は事務局兼務を担当。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
大学生が地域の魅力を知り、将来的に地域で就職・定住するきっかけづくりとなることや、地域のボランティア等に参加することで地域課題の解決や実践能力を養い、大学の魅力向上に資することを目的としている。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	0	0	10,305	9,991
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	0	0	8	8
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	0	0	34	26
活動指標2						
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	0	0	1,078	500
成果指標2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	3,372
正職員人件費 (B)		千円	0	0	7,651	7,703
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,651</b>	<b>11,075</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会の運営</li> <li>学生の地域活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会負担金 3,272千円</li> </ul> <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算4,892千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…4,892千円、28年度総事業費…12,543千円</p>

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	<b>改革方向性（成果）</b>			
	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：男女の出会いの場づくり支援事業 企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の未婚者（25～44歳）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内関係機関等との連携協力により、独身の男女の出会い、交流の場を提供するイベント等を開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
独身の男女の出会いの場づくりを支援する。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	未婚者数（25～44歳）（国勢調査結果）	%	0	0	10,004	9,335
対象指標 2						
活動指標 1	イベント等の実施回数	回	0	0	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	イベント等への参加人数	人	0	0	80	80
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	1,400	800
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,826	2,311
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,226</b>	<b>3,111</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	独身男女の出会いを支援する交流イベントを開催。	委託料 800千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				



事業名：江別国際センター施設管理費等補助金 秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市国際交流推進協議会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市内の各国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が管理・運営している「江別国際センター」の事業運営費の一部を補助する。 補助金内訳：テナント賃借料、光熱水費、スタッフ人件費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
国際交流施設が安定的に運営される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	23	21	24	21
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	3,277	3,362	3,447	3,352
活動指標 2						
成果指標 1	利用者数	人	9,993	10,921	10,000	11,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,277	3,362	3,447	3,352
正職員人件費 (B)		千円	1,256	1,242	1,224	1,232
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>4,533</b>	<b>4,604</b>	<b>4,671</b>	<b>4,584</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	以下の事業を実施する江別市国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金を支出する。 ・外国人との交流イベントの実施 ・英語、韓国語などの外国語講座 ・会報、ホームページでの広報 ・外国人に対するホームステイや通訳などのサポート支援	江別国際センター施設維持管理に対する補助金 3,352千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市都市提携委員会補助金

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の 基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市都市提携委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。 補助金内訳：学生及び市民派遣費、交換学生等受入費									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。 1. 異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2. 市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす 3. 姉妹・友好都市との交流を通じて自分の国やまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会に貢献できることを目指す									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	550	400	500	500
活動指標 2						
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	3	3	4	4
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	4	3	4	4
事業費 (A)		千円	550	400	500	500
正職員人件費 (B)		千円	393	388	383	385
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>943</b>	<b>788</b>	<b>883</b>	<b>885</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	以下の事業内容を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・高校生のグレスラム市相互派遣 ・国際交流イベントへの協力 ・姉妹都市、友好都市に関する市民PR ・姉妹都市、友好都市訪問団への助成 ・友好都市訪問団との交流	・江別市都市提携委員会への補助金：500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：姉妹都市提携40周年記念事業

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略			
取組の基本方針	02 国際交流の推進			プロジェクト			
				プログラム			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	・ 江別市民、グレシャム市民
手段（事務事業の内容、やり方）	・ 姉妹都市提携40周年を記念した関係者の相互訪問及び記念式典等の実施
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・ 市民の姉妹都市に対する理解を深め、今後の都市間交流の充実と円滑化を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	江別市民、グレシャム市民	人	0	0	0	228,650
対象指標2						
活動指標1	事業費	千円	0	0	0	3,070
活動指標2						
成果指標1	式典等の両市参加者数	人	0	0	0	80
成果指標2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	3,070
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,311
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	5,381

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グレシャム市訪問</li> <li>・ グレシャム市訪問団の受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グレシャム市訪問経費 2,329千円</li> <li>・ グレシャム市訪問団受入経費 741千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	グレシャム市との姉妹都市提携が平成29年に40周年を迎えることから、この節目を祝福し、両市の絆を深めるために、相互訪問などの記念事業を実施する。		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止					
廃止					
その他					

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進				戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進				プロジェクト					
					プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金		

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市職員	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>行政改革大綱に基づく行政改革推進計画を実施する。</li> <li>行政改革推進委員会を開催し、行政改革に関する意見や助言を求める。</li> <li>行政改革に関するセミナーを開催する。</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。</li> </ul>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市職員数	人	1,151	1,158	1,156	1,158
対象指標 2						
活動指標 1	行政改革推進委員会開催回数	回	0	1	2	2
活動指標 2	行革関連事業等開催回数	回	3	5	3	5
成果指標 1	行政改革取組項目数	件	26	26	26	26
成果指標 2	行革関連事業参加者数	人	107	157	130	130
事業費 (A)		千円	64	85	179	141
正職員人件費 (B)		千円	4,712	3,882	3,443	3,466
総事業費 (A+B)		千円	4,776	3,967	3,622	3,607

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政改革推進委員会の開催</li> <li>行政改革セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政改革推進委員会開催経費 96千円</li> <li>行政改革セミナー開催経費 45千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員</li> <li>・市民</li> </ul>									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価調書の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。</li> <li>・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。</li> <li>・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会や研修会を開催する。</li> <li>・学識者・有識者、市民公募委員などから構成される行政評価外部評価委員会を開催し、市が自ら行った行政評価（内部評価）に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。</li> <li>・外部評価の実施により、職員が行う内部評価の信頼性や客観性が確保されるとともに行政評価の質が向上し、総合計画の一層の推進につながる。</li> </ul>									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市職員数	人	1,151	1,158	1,156	1,158
対象指標 2	市民数	人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	1	3	2	2
活動指標 2	外部評価委員会開催回数	回	5	6	8	10
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	47.3	54.2	100	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	89.5	90.4	100	100
事業費 (A)		千円	2,446	2,817	3,076	3,342
正職員人件費 (B)		千円	5,497	10,481	9,181	9,244
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>7,943</b>	<b>13,298</b>	<b>12,257</b>	<b>12,586</b>

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケートの実施</li> <li>・庁内研修会の開催</li> <li>・行政評価外部評価委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート実施経費 2,740千円</li> <li>・庁内研修会開催経費 16千円</li> <li>・行政評価外部評価委員会開催経費 586千円</li> </ul>

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： 広域行政推進事業

企画課 企画係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
札幌広域圏組合構成市町村（札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村）を中心とした広域圏域の住民、行政機関。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
札幌広域圏市町村が実施する協力連携事業に負担金を支払う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
圏域市町村にまたがる具体的な共同ソフト事業を実施することにより、圏域全体の行政課題解決や圏域全体の振興を図る。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	構成市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	札幌広域圏組合負担金額	千円	599	598	598	585
活動指標 2						
成果指標 1	研修事業参加職員数（構成市町村）	人	229	169	229	169
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	599	598	598	585
正職員人件費 (B)		千円	5,104	2,329	2,678	2,696
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>5,703</b>	<b>2,927</b>	<b>3,276</b>	<b>3,281</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修事業（共同研修事業、新規職員後期研修事業、専門研修事業）</li> <li>観光振興事業</li> <li>人材文化交流事業 他</li> </ul>	札幌広域圏組合負担金 585千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	<b>改革方向性（成果）</b>	向上	維持	低下

事業名： 広聴活動事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の 基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメール、⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図るとともに、それらの有効性の検証を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2						
成果指標 1	1年間に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	243	279	312	288
成果指標 2	1年間に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	135	106	135	153
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	4,712	4,658	4,591	5,392
総事業費 (A+B)		千円	4,712	4,658	4,591	5,392

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	市民からの意見・要望を所管課に伝え、市政に反映させる。	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 広報えべつ発行事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 世帯</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均28頁、毎月1日付、年12回発行。</li> <li>・ 編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。</li> <li>・ 配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。</li> </ul>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改正、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標2	世帯数	世帯	55,236	55,530	55,530	56,047
活動指標1	月平均作成部数	部	47,293	47,205	47,200	47,200
活動指標2	広報配布箇所数	箇所	288	282	282	278
成果指標1	配布率	%	84.4	83.7	84.5	84.3
成果指標2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	87.8	88.5	87.8	88.5
事業費(A)		千円	13,431	13,131	13,953	13,902
正職員人件費(B)		千円	11,780	11,646	11,477	11,555
総事業費(A+B)		千円	25,211	24,777	25,430	25,457

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	広報えべつの発行	広報えべつ作成経費 13,846千円 広報えべつ発送準備経費 56千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名： ウェルカム江別事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略	4 えべつの魅力発信シティプロモート				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト	A ニーズにあわせた効果的な情報発信				
				プログラム	③ 江別市に住んでもらうための生活情報の発信				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別市外の人
手段（事務事業の内容、やり方）	江別市の魅力をPRするパンフレット類の作成及びホームページを作成・運営するほか、移住促進に資する活動に支援する。 江別市ふるさとふれあい推進事業補助規則による補助。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	江別市に対する認知度、イメージが向上する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	パンフレット等作成部数	部	18,000	33,000	33,000	36,000
活動指標 2	ホームページ更新回数（年間）	回	2	28	12	12
成果指標 1	パンフレット等配布部数（年間）	部	18,000	33,000	33,000	36,000
成果指標 2	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	件	27,988	19,750	24,500	25,400
事業費 (A)		千円	2,880	2,801	2,625	8,581
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	5,236	5,130	4,920	11,662

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別の良さをPRするパンフレット・ガイドの作成及びホームページコンテンツの充実</li> <li>市内全域のマップ作成</li> <li>市勢要覧の作成</li> <li>市内大学と連携したプロモーション動画（15秒CM）の作成</li> <li>市内大学へのプロジェクター購入支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別の良さをPRするパンフレット20,000部 1,860千円</li> <li>ガイド3000部 101千円</li> <li>市内全域のマップ10,000部 432千円</li> <li>市勢要覧 3000部 540千円</li> <li>15秒CM作成 324千円</li> <li>市内大学へのプロジェクター購入支援 5,000千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民および江利市の情報を必要としているインターネット利用者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市公式ホームページによる市政情報やイベント情報などの提供									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	4,199	4,308	3,000	3,700
活動指標 2						
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	5,232,348	4,619,130	4,902,000	4,947,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	727	664	713	713
正職員人件費 (B)		千円	7,853	7,764	7,651	7,703
総事業費 (A+B)		千円	8,580	8,428	8,364	8,416

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	市ホームページの管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ管理システムの保守運営経費 665千円</li> <li>コンテンツ管理システムの回線使用料等 48千円</li> </ul>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつシティプロモーション事業

政策推進課 主幹（シティプロモート）

政策	09 計画推進			戦略	4 えべつの魅力発信シティプロモート				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			プロジェクト	A ニーズにあわせた効果的な情報発信				
				プログラム	④ 江別市のイメージづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市外居住者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内大学・企業・経済団体などとともに推進組織を設置し、官民一体的なプロモーションを検討の上、実践する。</li> <li>・まちのイメージを高めるための戦略的な取組を構築する。</li> <li>・効果的な情報発信を検討の上、実施する。</li> </ul>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市に対する認知度、イメージを向上させる。									

<b>指標・事業費の推移</b>						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市外居住者	千人	126,963	126,975	126,811	126,811
対象指標 2						
活動指標 1	推進プロジェクト等の活動回数	回	17	10	18	15
活動指標 2						
成果指標 1	江別市の認知度の道内順位	位	19	21	19	18
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	983	4,232	3,833	4,923
正職員人件費 (B)		千円	7,853	7,764	7,651	9,244
<b>総事業費 (A+B)</b>		<b>千円</b>	<b>8,836</b>	<b>11,996</b>	<b>11,484</b>	<b>14,167</b>

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
29年度	「食」を核にしたプロモーション活動 江別シティプロモート推進協議会の運営と実践活動 フリーペーパーへの記事掲載 江別市PRワッペン・バッジ作成 子育てママ向け江別PRセミナー開催	「食」を核にしたプロモーション活動 2,040千円 江別シティプロモート推進協議会の運営と実践活動 1,349千円 フリーペーパーへの記事掲載 583千円 江別市PRワッペン・バッジ作成 302千円 子育てママ向け江別PRセミナー開催 265千円

<b>改革案（2月時点）</b>		<b>改革方向性（コスト）</b>		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：北海道移住促進事業

企画課 企画係

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
移住検討者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道移住促進協議会に参加し、首都圏に住む団塊の世代等をメインターゲットに、プロモーション活動を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市の住みやすさが的確に伝わることで、移住促進が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	全国総人口	千人	127,083	127,095	126,930	126,930
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション活動回数	回	4	1	4	2
活動指標 2						
成果指標 1	移住に関する問合せ件数	件	10	12	10	10
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	50	50	50	50
正職員人件費 (B)		千円	785	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	835	2,379	2,345	2,361

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住ワンストップ窓口</li> <li>・イベント（首都圏移住フェア等）でのパンフレット配布</li> </ul>	北海道移住促進協議会負担金 50千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性(成果)	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：えべつ冬季イベント事業

企画課 企画係

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の 基本方針	01 政策の総合推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和56年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	青年会議所をはじめ、市内各種団体、市内大学生等と実行委員会を組織し、冬季イベントを開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	雪を素材とした市民交流・親子のふれあいの場を提供する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	実行委員会予算額	千円	3,256	3,248	3,248	3,248
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	14,000	20,000	20,000	20,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	冬季イベント実行委員会事務局	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

